



歯科トピックス

歯科診療科医長 総山 貴子

歯周炎と関わりのある病気をご存知ですか？ ～ 歯周炎と動脈硬化の関わりについて ～



この質問、覚えていますか？



問. 次の中で歯周炎と関係する病態はどれでしょうか？

- A：動脈硬化 B：糖尿病 C：骨粗しょう症 D：メタボリックシンドローム
E：誤嚥性肺炎

答. なんと…全部です！！



関連性の機序に関しては、今後の研究結果を待たなければいけないものもありますが、上記以外にも最近では、脂肪肝や一部の皮膚の病気などに影響を与えるという報告があります。

今回は、選択肢「A：動脈硬化」についてお話しします。

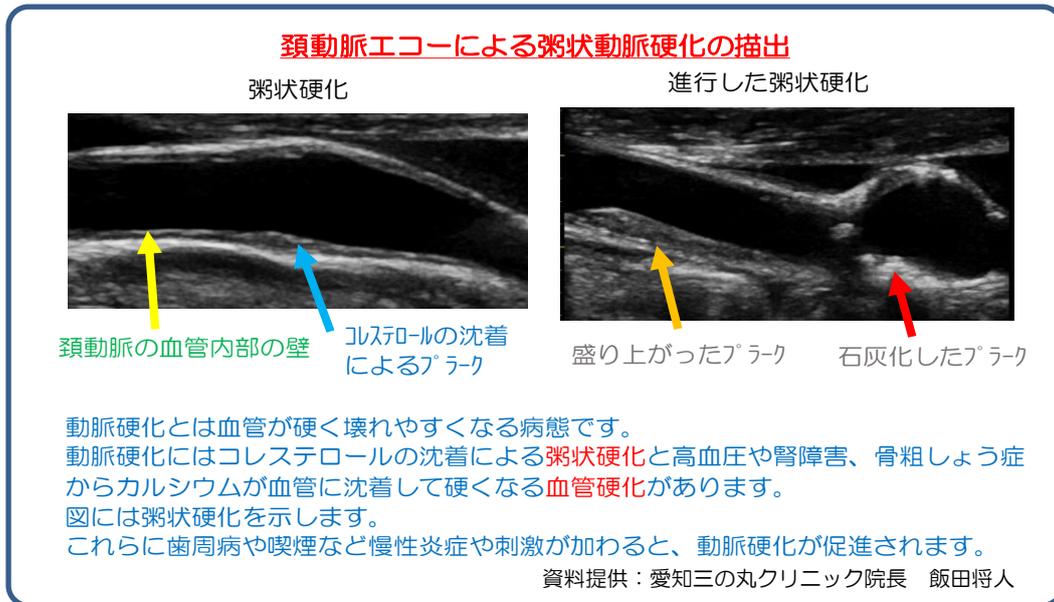
歯周炎にかかっている人は、そうでない人に比べて1.5～2.8倍も循環器の疾患を発症しやすいといわれています。

歯周炎の主原因は口の中の細菌です。

歯周炎を悪化させる原因となる細菌である歯周病原菌やそこからつくられる物質は、直接、血管に障害を与える作用があります。

さらに、歯周炎に伴って体内でつくられる炎症を悪化させる物質が、血流によって血管壁に影響を及ぼし、動脈硬化を促進するといわれています（下図）。

実際に動脈硬化が起きている部分から歯周病原菌が検出されたという報告があります。

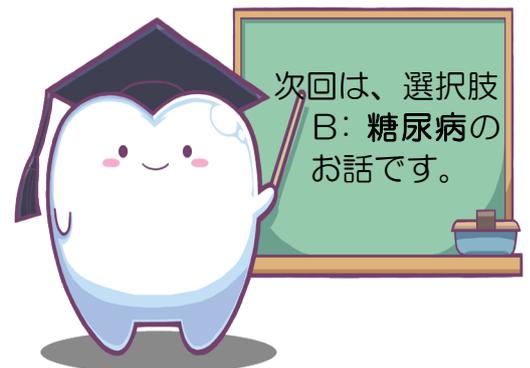
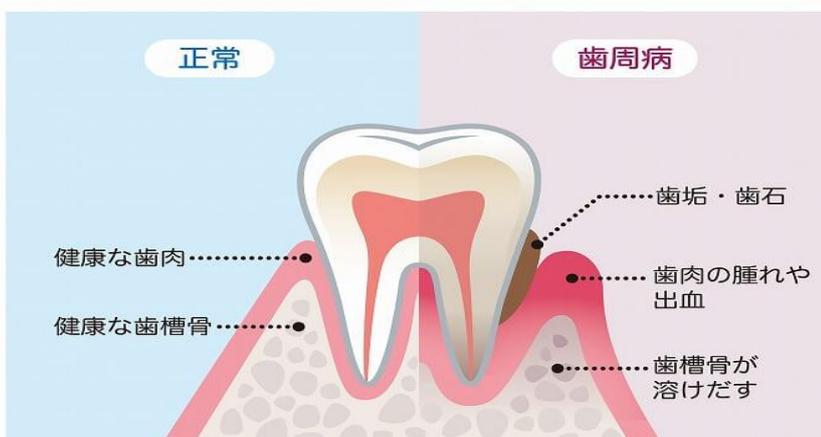


歯周病原菌は口の中だけで悪さをするわけではないのです。

歯周炎が進行し始め、歯ぐきがダメージを受けると、歯ぐきのすぐ下にある歯槽骨（歯を支える骨）にもダメージが加わり、どんどん歯槽骨が減っていきます。

歯槽骨が減ったり、歯ぐきが腫れることによって、深い歯周ポケットができます（左下図）。その深い歯周ポケットから、体の中に歯周病原菌等が侵入してしまうのです。

歯周炎をケアすることによって、動脈硬化を悪化させるリスクを減らすことができるかもしれません。一度歯科を受診し、歯周炎をチェックしてもらいましょう。



くすりを飲むときの一般的注意

医薬品は主に医療用医薬品、要指導医薬品、一般用医薬品に分けられます。一般用医薬品はさらに、リスクの程度に応じて第1類、第2類、第3類に分類されています。

医療用医薬品は、医師の診断の上で使用される薬で、治療・予防を目的としていて、処方箋に基づいて使用されます。



医師が処方した薬はその人だけの薬です。医師はその人の体質、年齢、診察した時点での症状に応じて処方しています。

処方された薬を自分以外の人にあげたり、残っていた薬を自己判断で使用することはしないようにして下さい。

要指導医薬品・一般用医薬品は、医薬品のうち、その効果および効能において人体に対する作用が著しくないものであって、需要者が薬剤師その他の医療関係者から提供された情報に基づき自らの選択で使用する薬のことをいい、薬局や薬店などで購入できます。

薬を選ぶときは、薬剤師あるいは登録販売者に相談して購入するようにしましょう。または、外箱の効能や対象年齢等を確認するようにしましょう。

（要指導医薬品は、その適正使用のために、薬剤師の対面による書面を用いた情報提供及び指導が、第1類医薬品は、薬剤師による書面を用いた情報提供が義務付けられています。）

成人には用いられても、小児には使用できない薬があります。

たとえば、医療用医薬品や市販薬に使われている解熱鎮痛剤の一部には、15歳未満でインフルエンザや水痘にかかった方が使用すると、重篤な脳の病気を引き起こす可能性があるため使用しない方がいい薬や、咳止めの薬の一部には、重篤な呼吸抑制があらわれる恐れがあるため、12歳未満の方には使用できない薬などがあります。

愛知三の丸クリニックの診療科目と診療時間

【診療科目】

内科、外科、眼科、皮膚科、歯科・歯科口腔外科

【診療時間】(都合により担当医師が変更となる場合があります。)

2020年4月1日現在

診療科目	時間	月	火	水	木	金
内科	午前	(血液)杉崎 (循環器)飯田	(内分泌)奥地 (循環器)加藤	(血液)下川 (循環器)飯田	(循環器)石黒 (消化器)岡田 (循環器)飯田	(内分泌)浅井※3 (血液)緒方
	午後	(呼吸器)中畑※1 (血液)緒方 (循環器)飯田	(呼吸器)前田※2 (血液)緒方	(血液)下川 (循環器)飯田	(循環器)松波 (血液)杉崎	(呼吸器)渡辺 (血液)杉崎
外科	午前	—	—	—	鈴木	—
	午後	—	鈴木	—	—	—
眼科	午後	中村(第1・3・5週) 小口(第2・4週)	—	—	鶴田(第1・3・5週) 小口(第2・4週)	—
皮膚科	午後	—	—	—	嘉陽 梶村(第2・4週)	—
歯科 歯科口腔外科	午前	(ふさやま) 總山	總山	總山	總山	總山
	午後	總山	總山	總山	總山	總山

(※1) 月曜午後の呼吸器は、第2週と第4週のみ診察します。

(※2) 火曜午後の呼吸器は、第1週と第3週と第5週のみ診察します。

(※3) 金曜午前の内分泌は、第2週と第4週のみ診察します。

【診療受付時間】

午前： 8時50分から11時00分まで

午後：12時50分から15時30分まで(眼科は15時00分までの受付です。)

【その他】

休診日については、院内掲示もしくは当クリニックホームページでご確認ください。

URL：<http://www.sannomaru-hp.jp/>

医科の再診の場合は、総合受付または電話(医科予約受付専用電話：052-961-7012)にて予約を受け付けます。

歯科の予約は、歯科受付窓口または電話(歯科予約受付専用電話 052-950-0560)にて予約を受け付けます。

各種健康診断・人間ドックのお問い合わせは、電話(052-950-0500)にご連絡ください。

外来よりお知らせ

【花粉症について】(内科)

花粉等の影響による諸症状(鼻づまり、鼻水、目のかゆみ、くしゃみ、咳等)でお困りの方やご自身のアレルゲン(アレルギーの原因物質)をお知りになりたい方は、当クリニックにお任せください。

医師による診察(医師の判断による血液検査等)を行い、必要に応じて内服薬、点鼻薬、点眼薬等を処方します。

【禁煙外来について】(内科)

当クリニックでは、毎週水曜日に、内科の下川医師の指導・管理の下に内服薬を用いた禁煙指導(禁煙外来)を行っています。

内服薬による禁煙をご希望の方は、お気軽にご来院ください。

【AGA(男性型脱毛症)について】(外科・皮膚科)

AGA(男性型脱毛症)による薄毛でお悩みの方は、外科(毎週火曜日の午後、木曜日の午前)及び皮膚科(毎週木曜日の午後)において、医師の診断の下に内服薬フィナステリド錠(プロペシア錠)の処方を行っています。

AGAは少しずつ進行しますので、できるだけお早目の受診をお勧めしています。

編集後記

愛知三の丸クリニックだよりの感想や取り上げてほしいテーマ等がありましたら下記メールアドレスにご連絡ください。今後の参考にさせていただきます。

E-mail

aichi-sannomaru-hp@oregano.ocn.ne.jp

愛知三の丸クリニック

住所 名古屋市中区三の丸3-2-1
電話 052-961-7011(代表)
052-961-7012(医科予約専用)
052-950-0560(歯科専用)
052-950-0500(健診専用)